


第5章 液化石油ガス設備工事

第1 液化石油ガス設備工事 設置の工事届出（法第38条の3）

1 届書の提出について

(1) 提出書類

規則様式第48（第88条様式）「液化石油ガス設備工事届書」


 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（65ページ）

(2) 届出時期

貯蔵能力が500kgを超え3,000kg未満（バルク貯槽にあつては1,000kg未満）の貯蔵設備をもつ供給設備の設置の工事をしたときは、遅滞なく届出すること。

(3) 貯蔵設備として容器（バルク容器を除く）を設置する場合の添付書類

ア 設備工事届書別紙（容器）

 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（66～67ページ）

イ 案内図

ウ 敷地配置図

エ 保安距離図（貯蔵能力が1,000kg以上に限る。）

オ 容器収納庫の構造図

カ 供給管の配管図

キ 施工設備士の免状の写し


ク 気密試験結果

ケ その他、技術上の基準の確認に必要な書面、図面又は施工時写真

技術上の基準に適合していることが確認できる書面、図面又は施工時写真を添付すること。

(4) 貯蔵設備としてバルク容器を設置する場合の添付書類

ア 設備工事届書別紙（バルク容器）

 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（68～71 ページ）

イ 案内図

ウ 敷地配置図

エ 保安距離図（貯蔵能力が1,000kg以上に限る。）

オ 供給管の配管図

カ 施工設備士の免状の写し


キ 気密試験結果

ク その他、技術上の基準の確認に必要な書面、図面又は施工時写真

技術上の基準に適合していることが確認できる書面、図面又は施工時写真を添付すること。

(5) 貯蔵設備としてバルク貯槽を設置する場合の添付書類

ア 設備工事届書別紙（バルク貯槽）

 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（72～75 ページ）

イ 案内図

ウ 敷地配置図

エ 保安距離図

オ 供給管の配管図

カ 施工設備士の免状の写し

キ 気密試験結果

ク その他、技術上の基準の確認に必要な書面、図面又は施工時写真

技術上の基準に適合していることが確認できる書面、図面又は施工時写真を添付すること。

2 その他

- (1) 規則第 86 条に規定する届出対象施設以外の施設に供給設備を設置する場合は、届出の必要はない。なお、老人福祉施設等については、規則第 86 条第 5 号の共同住宅として取り扱うものとする。
- (2) 供給設備の貯蔵能力が 500 k g を超えるものが届出の対象となることから、50 k g 容器を 10 本貯蔵する場合は、貯蔵能力が 500 k g のため届出の必要はない。

3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例

(1) 液化石油ガス設備工事届書（新規）の作成例

様式第48（第88条関係）

×整理番号	
×受理年月日	

液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

さいたま市消防長 様


氏名又は名称及び法人に ○○液化石油ガス株式会社
 あつてはその代表の氏名 代表取締役 ○○ ○○
 住 所 さいたま市○○区○○町○○番地

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	さいたま市○○区○○町○○丁目○○番地
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	○○○○アパート（共同住宅の家主の氏名）
当該設備の使用目的	共同住宅の一般消費者等に液化石油ガスを供給
貯蔵設備の貯蔵能力	50kg容器 12本（計600kg）
工 事 の 内 容	共同住宅の供給設備の設置工事

- （備考）1 この用紙の大きさは、日本産業企画A4とすること。
 2 ×印の項は記載しないこと。

(2) 設備工事届書別紙(容器)の作成例

設備工事届書別紙(容器)			
1. 貯蔵設備の構造総括表			
貯蔵能力	600 kg (50 kg × 12 本)		
構造	屋根	①石綿スレート ・ ②薄鉄板 ・ ③その他 ()	
	扉	材質 (鋼板) 厚さ (2.5 mm) ①引戸 ・ ②シャッター ・ ③開戸	
	囲い	①鉄筋コンクリート・②重ブロック・③鋼板製・④その他 ()	
	滞留防止措置	①有 (40 cm × 20 cm 2 個 2 方向) ・ ②無	
	転倒防止措置	①チェーン ・ ②その他	
位置	火気 2 m	①適 ・ ②否	敷地境界線までの距離 5 m
	保安物件までの距離	第1種保安物件 400 m 第2種保安物件 1 m	
供給状況	火気取り扱い施設との距離 (1トン以上に限る)	①適 (5m以上) ・ ②否	
	調整器	①自動切替式 (1. 分離・2. 一体) ・ ②2段減圧式 (1. 分離・2. 一体) ③単段減圧式 能力 30 kg/h	
	メーター	①マイコンII ・ ②C ・ ③B ・ ④L ・ ⑤S ・ ⑥SB ⑦その他 (), 2.5 号	
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	①有 ・ ②無	
	対震自動ガス遮断装置	①メーター内蔵 ・ ②感震器連動	
	ガス漏えい検知装置	①有 (1. 流量検知式・2. 圧力検知式・3. 流量検知式圧力監視型) ・ ②無	
警戒標	気化装置 (添付書類)	①有 (形式 能力 kg/h) ・ ②無 (認定書の写し)	
	LPガス	1 枚	火気厳禁 1 枚
	無断立入禁止	1 枚	緊急時連絡先 1 枚
消火器		1 枚	管理者氏名 1 枚
	能力単位	A- (5)、B- (12) 本数 (1) 本	

2. 供給管等

高	圧	部	主な管の材料	圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370)				
低	露	出	部	主な管の材料	硬質塩化ビニル被覆鋼管 (PLV)			
			埋	設	部	主な管の材料	硬質塩化ビニル被覆鋼管 (PLV)	深
	部	ピ			ット	①有 (有の場合は、図面に明記すること。) ・ ②無		

3. その他

設	備	士	名	〇〇 〇〇	設	備	士	免	状	番	号	〇〇	県	No.	〇〇〇〇〇〇〇〇							
設	備	士	再	講	習	受	講	年	月	日	〇〇年〇〇月〇〇日											
ポ	リ	エ	チ	レ	ン	資	格	者	氏	名	〇〇	〇〇	資	格	番	号	〇〇〇〇〇〇〇〇					
施	工	後	の	表	示	①有	・	②無	施	行	完	了	年	月	日	〇〇年〇〇月〇〇日						
供	給	予	定	販	売	事	業	者	①有	(株	式	会	社	〇〇	ガ	ス	販	売)	・	②無

4. 添付書類 (以下の書類を添付すること)

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	敷地配置図 (敷地内の容器置場の位置と付近の状況を示す図面)
3	保安距離図 (貯蔵量1トン以上の物件に限り必要。容器置場からの保安距離 (斜め距離含む) が確認できる図面)
4	容器置場の構造図 (市販ボンベ庫の使用の場合は製造元の仕様書等でも可)
5	供給管の配管図
6	施工設備士の免状の写し
7	機密試験結果 (自記圧力計の記録された用紙の写し) ※中圧部分がある場合は中圧部分の試験結果も必要

(3) 設備工事届書別紙（バルク容器）の作成例

設備工事届書別紙（バルク容器）				
1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項				
規則 19条	貯 蔵 能 力	9 8 0 kg (9 8 0 kg × 1 基)		
	項 目	対 応 事 項	添付書類	
1号 (貯蔵能力千キログラム未満)	イ	カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ	カップリング用液流出防止装置 (①試験合格品・②大臣認定品)	
	ロ	ガス取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	ハ	液取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	ニ	カップリング付き均圧バルブ	箱(カップリング ①試験合格品・②大臣認定品)・無	
	ホ	液 面 計	①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方式：_____	
	ヘ	過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	ト	付 属 機 器 への 保 護	プロテクター厚さ _____ 2. 3 mm	
	チ	警 戒 標	表示内容：液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	リ	緊 急 連 絡 先 の 表 示	表示内容：販売店名・緊急時連絡先	
	ヌ	腐 食 防 止 措 置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ ジンクロメート 膜厚 _____ 20 μm × 2回 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ フタル酸樹脂エナメル 膜厚 _____ 15 μm × 1回	
	ル	スカート又はサドル等	①スカート・②サドル・③その他	施工時写真
	ヲ	基 礎	地盤面からの高さ _____ 5 cm	施工時写真
	ワ	車 輛 が 接 触 し な い 措 置	措置方法：防護柵	施工時写真
	カ	安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ 20 cm	施工後写真
	ヨ	2 m 以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ 1. 5 m 措置方法：_____	配置図(火気距離を示す) ・構造図・施工後写真
	タ	常に40℃以下に保つ	容器収納庫により保管	構造図

II 各論 第5章 液化石油ガス設備工事

第1 液化石油ガス設備工事 設置の工事届出

2号 (貯蔵能力千三キログラム以上未滿)	イ	保安距離	用途地域等(①工業専用地域・②工業団地・③その他)の 第1種保安物件までの距離 <u>1.0</u> m 第2種保安物件までの距離 <u>10</u> m 敷地境界線までの距離 <u>1.5</u> m 障壁の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ	火気を取り扱う施設距離 及び液化石油ガスの流動 を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 <u>6</u> m 敷地境界線までの距離 <u>8</u> m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の 配置図及び構造図
	ハ	屋根又は遮へい板	材質: <u>繊維強化セメント</u>	構造図
	ニ	消火設備の設置	消火器の個数 <u>1</u> 個 消火器の能力 A - (<u>5</u>) B - (<u>12</u>)	設置場所の位置図
	ホ	規則19条1号イ〜カ までの基準	(別紙2-1)	
4号	容器は漏洩がないこと	試験圧力 <u>1.8</u> MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 <u>埼玉県〇〇市〇〇-〇-〇</u> 名称 <u>〇〇〇〇(株)監視センター</u>	無の場合にあつては、 告示に定める要件に 適合する資料	
6号	容器と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式をプロテクター内・②二段減圧式 分離型の一次側をプロテクター内・③その他	施工後写真	
7号	規則第18条第4・7号,第8号の2~ 16号,第18~22号の基準	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽〜調整器 <u>2.6</u> MPa 調整器〜メータ <u>0.8</u> MPa 一次調整器〜二次調整器 _____ MPa		

II 各論 第5章 液化石油ガス設備工事

第1 液化石油ガス設備工事 設置の工事届出

2 供給状況等

高圧部	主な管の材料	圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370)	
中・低圧部	露出部	硬質塩化ビニル被覆鋼管 (PLV)	
	埋設部	主な管の材料	ポリエチレン管 (PE管) 深 さ 0.4 m
ピット	① 有 (図面に明記すること。) ・ ② 無		
供給状況	調整器	①自動切替式 (1. 分離型・2. 一体型) ②二段減圧式 (1. 分離型・2. 一体型) ③単段減圧式	能力 30 kg/h
	メーター	① マイコンⅡ ・ ② S ・ ③ SB ・ ④ E ⑤ EB ・ ⑥ その他 (), 2号	
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	① 有 ・ ② 無	
	対震自動ガス遮断装置	① メーター内蔵 ・ ② 感震器連動	
	ガス漏えい検知装置	① 有 (1. 流量検知式・2. 圧力検知式・3. 流量検知式圧力監視型) ・ ② 無	
気化装置 (添付書類)	① 有 (形式 _____, 能力 _____ kg/h) ・ ② 無 (認定書の写し)		
消火器	能力単位 A- (5), B- (12) 本数 (1) 本		

3 充てん設備に係る事項

項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
充てん事業者	名称 <u>〇〇〇〇産業株式会社</u>	
充てん設備の種類	① 規則第64条第1項に基づく設備(新 型) ② 規則第64条第2項に基づく設備(従来型)	
車 輛 登 録 番 号	登録番号 <u>〇〇 800 あ 1234</u>	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 <u>ABC</u> 番号 <u>5678</u>	
許可番号及び許可年月日	許可番号 <u>指令化保第〇-〇-〇〇号(埼玉)</u> 許可年月日 <u>〇〇</u> 年 <u>〇〇</u> 月 <u>〇〇</u> 日	
車 輛 停 車 位 置	第1種保安物件までの距離 <u>3.5</u> m 第2種保安物件までの距離 <u>12.0</u> m	

4 設備士等	
設備士名	〇〇 〇〇 設備士免状番号 〇〇県 No. 〇〇〇〇〇〇
設備士再講習受講年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
ポリエチレン資格者氏名	〇〇 〇〇 資格番号 〇〇〇〇〇〇
配管用フレキ管資格者名	〇〇 〇〇 資格番号 〇〇〇〇〇〇
施工後の表示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 施工完了年月日 〇〇年 〇〇月 〇〇日
工事業者連絡先電話番号	〇〇液化石油ガス株式会社 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
販売事業者名・電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (株式会社〇〇ガス販売) ・ <input type="checkbox"/> 未定
5 その他の添付書類	
1	現地への案内図（最寄り駅から所在地までが確認できるもの）
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し（再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。）
4	気密試験結果（自記圧力計の記録用紙の写し）* 中圧部分がある場合はその結果も必要

II 各論 第5章 液化石油ガス設備工事

第1 液化石油ガス設備工事 設置の工事届出

(4) 設備工事届書別紙（バルク貯槽）の作成例

設備工事届書別紙（バルク貯槽）			
1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項			
貯蔵能力	980 kg (980 kg × 1 基)		
規則19条	項目	対応事項	添付書類
3号イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋設式 容積 2.44 m ³ 材質 SM520B	製品仕様書及び明細図
3号ロ	保安距離	用途地域等(①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 1.0 m 第2種保安物件までの距離 1.0 m 敷地境界線までの距離 1.5 m 構造壁等の有無 有・無	設置場所付近配置図(保安距離を示す) 構造壁等の配置図、 構造図 施工時写真
3号ハ	(1) 安全弁及び安全弁元弁	①試験合格品・②大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置 プロテクターに施錠 所要吹出し量 W ₁ = 5,284 kg/h 規定吹出し量 W ₂ = 5,602 kg/h	
	(2) 液面計	①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方式: 浮力式	
	(3) 過充填防止装置	①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	(4) カップリング用液流出防止装置付き液取弁	①試験合格品・②大臣認定品	
	(5) ガス取出弁及びガス放出防止器等	①試験合格品・②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	(6) 液取出弁及びガス放出防止器等	①試験合格品・②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	(7) カップリング付き均圧弁	有(①試験合格品・②大臣認定品)・無	
	(8) 付属機器(1)～(7)の保護	プロテクター厚さ 2.3 mm	
	(9) 警戒標	表示内容: 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	(10) 緊急連絡先の表示	表示内容: 販売店名・緊急時連絡先	施工後写真
	(11) 腐食防止措置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 ジンクロメート 膜厚 20 μm × 2回 2. 上塗り塗装 塗料の種類 フタル酸樹脂エナメル 膜厚 15 μm × 2回 3. 電気防しよく措置(地下貯槽) ①有(マグネシウム kg × 本)・②無 防しよく電位測定端子・プロテクターとの電気的絶縁・配管との絶縁継手等	施工時写真
	(12) 支柱又はサドル等	①支柱・②サドル・③その他	施工後写真

3号ニ (地上貯槽)	(1) 基礎	地盤面からの高さ <u>5</u> cm	施工時写真
	(2) 車輛が接触しない措置	措置方法：防護柵	施工時写真
	(3) 支柱又はサドル等の固定	アンカーボルト止め	施工後写真
	(4) 接地	接続線の断面積 <u>5.5</u> mm ² 接続方法：接続金具により、アンカーボルトと接地棒を接続 接地棒の直径 <u>7</u> mm 長さ <u>300</u> mm	施工後写真
	(5) 安全弁放出管の設置	頂部からの高さ <u>20</u> cm	施工後写真
3号ホ (地下貯槽)	(1) 頂部は地盤面下30cm以上	頂部埋設深さ _____ cm	施工図面・施工時写真
	(2) 埋設場所に車輛乗入不可の措置	措置方法：	施工後写真
	(3) 浮き上がり防止措置	バルク貯槽空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m ³ コンクリート板の容積 _____ m ³	施工図面・施工時写真
	(4) 石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5) ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	位置図・施工時写真
	(6) 標識杭の設置		位置図・施工時写真
	(7) プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽仕様図面
3号へ	2 m 以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 <u>1.5</u> m 措置方法：敷地境界線に隔壁	配置図（火気距離示す） ・構造図・施工後写真
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 <u>1.8</u> MPa	
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 <u>埼玉県〇〇市〇〇-〇-〇</u> 名称 <u>〇〇〇(株)監視センター</u>	無の場合にあっては、 告示に定める要件に 適合する資料
6号	貯槽と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	① 単段減圧式をプロテクター内・ ② 二段減圧式一体型を貯槽の直近 ③ 二段減圧式分離型の一次側をプロテクター ④ その他	施工後写真
7号	規則第18条第4～7号、第8号の2～ 16号、第18～22号の基準	(別紙3)	
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽～調整器 <u>2.6</u> MPa 調整器～メータ <u>0.8</u> MPa 一次調整器～二次調整器 _____ MPa	

II 各論 第5章 液化石油ガス設備工事

第1 液化石油ガス設備工事 設置の工事届出

2 供給状況等

高圧部	主な管の材料	圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370)	
中・低圧部	露出部	硬質塩化ビニル被覆鋼管 (PLV)	
	埋設部	主な管の材料	ポリエチレン管 (PE管) 深 さ 0.4 m
	ビット	① 有 (図面に明記すること。) ・ ② 無	
供給状況	調整器	① 自動切替式 (1. 分離型・2. 一体型) ② 二段減圧式 (1. 分離型・2. 一体型) ③ 単段減圧式	能力 30 kg/h
	メーター	① マイコンⅡ ・ ② S ・ ③ SB ・ ④ E ⑤ EB ・ ⑥ その他 (), ② 号	
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	① 有 ・ ② 無	
	対震自動ガス遮断装置	① メーター内蔵 ・ ② 感震器連動	
	ガス漏えい検知装置	① 有 (1. 流量検知式・2. 圧力検知式・3. 流量検知式圧力監視型) ・ ② 無	
	気化装置 (添付書類)	① 有 (形式 _____, 能力 _____ kg/h) ・ ② 無 (認定書の写し)	
消火器	能力単位 A- (5), B- (12) 本数 (1) 本		

3 充てん設備に係る事項

項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
充てん事業者	名称 <u>〇〇〇産業株式会社</u>	
充てん設備の種類	① 規則第64条第1項に基づく設備(新 型) ② 規則第64条第2項に基づく設備(従来型)	
車 輛 登 録 番 号	登録番号 <u>〇〇 800 あ 1234</u>	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 <u>ABC</u> 番号 <u>5678</u>	
許可番号及び許可年月日	許可番号 <u>指令化保第〇-〇-〇〇号(埼玉)</u> 許可年月日 <u>〇〇</u> 年 <u>〇〇</u> 月 <u>〇〇</u> 日	
車 輛 停 車 位 置	第1種保安物件までの距離 <u>3.5</u> m 第2種保安物件までの距離 <u>12.0</u> m	

4 設備士等

設備士名	〇〇 〇〇	設備士免状番号	〇〇県 No. 〇〇〇〇〇〇
設備士再講習受講年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		
ポリエチレン資格者氏名	〇〇 〇〇	資格番号	〇〇〇〇〇〇
配管用フレキ管資格者名	〇〇 〇〇	資格番号	〇〇〇〇〇〇
施工後の表示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	施工完了年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
工事業者連絡先電話番号	〇〇液化石油ガス株式会社 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇		
販売事業者名・電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (株式会社〇〇ガス販売) ・ <input type="checkbox"/> 未定		

5 その他の添付書類


1	現地への案内図（最寄り駅から所在地までが確認できるもの）
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し（再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。）
4	気密試験結果（自記圧力計の記録用紙の写し）* 中圧部分がある場合はその結果も必要

第2 液化石油ガス設備工事 変更の工事届出（法第38条の3）

1 届書の提出について

(1) 提出書類

規則様式第48（第88条関係）「液化石油ガス設備工事届書」

 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（79ページ）

(2) 届出時期

貯蔵能力が500kgを超え3,000kg未満（バルク貯槽にあつては1,000kg未満）の貯蔵設備をもつ供給設備で次の変更の工事をしたときは、遅滞なく届出すること。


ア 供給管の延長を伴う工事

イ 貯蔵設備の位置の変更又はその貯蔵能力の増加を伴う工事

(3) 貯蔵設備として容器（バルク容器を除く）を設置する場合の添付書類

◆印の書類等は、変更の内容に該当しない場合は添付を要しない。

ア 設備工事届書別紙（容器）

 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（66～67ページ）

イ 案内図

ウ 敷地配置図

◆エ 保安距離図（貯蔵能力が1,000kg以上に限る。）

◆オ 容器収納庫の構造図

◆カ 供給管の配管図

キ 施工設備士の免状の写し


ク 気密試験結果

◆ケ その他、技術上の基準の確認に必要な書面、図面又は施工時写真

技術上の基準に適合していることが確認できる書面、図面又は施工時写真を添付すること。

(4) 貯蔵設備としてバルク容器を設置する場合の添付書類

ア 設備工事届書別紙（バルク容器）

 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（68～71 ページ）

イ 案内図

ウ 敷地配置図

◆エ 保安距離図（貯蔵能力が1,000kg以上に限る。）

◆オ 供給管の配管図

カ 施工設備士の免状の写し

キ 気密試験結果


◆ク その他、技術上の基準の確認に必要な書面、図面又は施工時写真

技術上の基準に適合していることが確認できる書面、図面又は施工時写真を添付すること。

(5) 貯蔵設備としてバルク貯槽を設置する場合の添付書類

◆印の書類等は、変更の内容に該当しない場合は添付を要しない。

ア 設備工事届書別紙（バルク貯槽）

 3 液化石油ガス設備工事届書等の作成例（72～75 ページ）

イ 案内図

ウ 敷地配置図

◆エ 保安距離図

◆オ 供給管の配管図

カ 施工設備士の免状の写し

キ 気密試験結果

◆ク その他、技術上の基準の確認に必要な書面、図面又は施工時写真

技術上の基準に適合していることが確認できる書面、図面又は施工時写真を添付すること。

2 その他

供給設備に変更がなく、供給会社のみが変更となる場合は、規則第87条第1項に規定する変更の工事に該当しないため届出は要しないものとする。

II 各論 第6章 特定液化石油ガス設備工事事業

3 液化石油ガス設備工事届書（変更）の作成例

様式第48（第88条関係）

×整理番号	
×受理年月日	

液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

さいたま市消防長 様

氏名又は名称及び法人に ○○液化石油ガス株式会社
 あつてはその代表の氏名 代表取締役 ○○ ○○
 住 所 さいたま市○○区○○町○○番地

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	さいたま市○○区○○町○○丁目○○番地
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	○○○○アパート（共同住宅の家主の氏名）
当該設備の使用目的	共同住宅の一般消費者等に液化石油ガスを供給
貯蔵設備の貯蔵能力	50kg容器 18本（計900kg）
工事の内容	供給設備の貯蔵能力の増加に伴う工事 12本（600kg）から18本（900kg）に増加

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業企画A4とすること。
 2 ×印の項は記載しないこと。